

平成22年度（社）富士市薬剤師会事業報告

はじめに、この度の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに犠牲者、御遺族には心よりお悔やみ申し上げます。

さて、昨年は薬学6年生教育制度が始まって初めての薬局実務実習を行った年でもありました。約3ヶ月間の長きに渡り実習生を受け入れて頂きました指導薬剤師・薬局スタッフの皆様には感謝の言葉も見つかりません。真にありがとうございました。

薬局実務実習を終えた県大生のアンケートの中では、実習を受ける前と受けた後では薬局への考え方に変化があり、就職先を薬局に希望する学生さんも増えたと聞いております。この事からも分かるように、いかに指導薬剤師の方々が薬局実習に真剣に取り組んで頂けたかという事が伝わってまいります。今後の課題としては、指導薬剤師を増やす事で時間的・精神的負担を分散させることを考えて行かなくてはなりません。率先して実習生を受け入れて頂けるような体制を整える事が急務と考えます。

主な事業

1. 公衆衛生部

〔地域の医療及び公衆衛生の向上発展に関する事業〕

- 救急医療センターに於ける円滑なる調剤業務の推進
土曜、日曜日・祝祭日、平日準夜に実施されています。会員の協力により円滑に調剤業務が出来ました。
- 薬学リーダー
「薬とくらしの教室」として富士市職員への禁煙講座と喘息患者を対象とした薬についての講座を2回行い、薬剤師の地位向上に務めました。
- 覚醒剤乱用防止推進活動
富士総合庁舎で5/28 薬物乱用防止指導員富士地区協議会総会・研修会が開かれました。薬剤師会・保護司会の会員から成る富士市薬物乱用防止指導員は、10/17 中央公園での薬物乱用防止街頭啓発活動に参加しました。
- 健康まつりへの参加
9/23(金)に実施され、会員7名・薬学生3名が参加しました。
- 薬学研修生の受け入れ
薬学6年生教育制度が始まり始めての実務実習生を、7薬局で8名受け入れました。

- 介護保険制度への参加
介護保険認定審査員 14 名を派遣し、介護保険制度に積極的に参加しました。
- 富士市フッ化物利用推進事業
市の委託を受け「4, 5 歳児への集団的フッ化物洗口における薬剤の提供」において協力することとなり、幼稚園・保育園 43 園に対し 28 薬局が協力しました。
- うつ・自殺予防対策「富士モデル事業」への協力
滋賀県薬剤師会、久留米三井薬剤師会、愛知県半田市保健所で「富士モデル事業」の説明会を行なった。また静岡県内では東部中部西部及び伊豆地区の薬剤師を対象に行われた「メンタルヘルスサポーター育成講座」の中で富士モデル事業を説明しました。

2. 学校環境衛生部

〔学校保健及び集団施設の環境衛生に関する事業〕

- 集団検査の実施（幼稚園・保育園児及び小中高生対象）
市内の幼稚園、保育園児及び小・中・高生を対象に検尿、虫卵検査、又沼津・南駿地区の虫卵検査を実施しました。検査担当者の努力の積み重ねにより効率よく実施できました。平成 22 度は腎臓病判定委員会 6 回開催され、より正確な病名の判定が行われました。
- 環境衛生検査の実施
市内小学校(24 校)、中学校(15 校)、高校(3 校)、特別支援学校(1 校)、公立幼稚園(11 園)、私立幼稚(19 園)の飲料水の検査を行いました。小、中、高についてはプール水検査(191 件)をはじめ、簡易専用水道施設、プール施設、設備点検、給食施設の点検、教室の空気、照度検査を行いました。
- 臨床検査所の維持管理
渡邊医師指導の下に精度管理に万全を期しました。11/27 衛生検査所精度管理責任者等研修会(静岡)、2/22 一般検査研修会(富士)に参加しました。
- 小学生・中学生・高校生対象の薬学講座
各学校の学薬担当者によって、薬物乱用防止活動の一環として薬学講座を警察(少年サポートセンター)とタイアップして実施しました。

3. 学術部

〔医薬品等に関する情報収集及び会員研修に関する事業〕

- D I 活動（医薬品情報室）
インターネットによる情報収集、高齢者の電話によるくすりの相談等を行いました。

- 研修会の実施と参加
生涯学習委員会を中心に薬剤師生涯教育講座を7回実施しました。3/9 学校薬剤師研修会を行いました。
- 学術大会への会員派遣
10/10・11日薬大会(長野)、11/23 東海薬剤師学術大会(静岡)に会員を派遣しました。

4. 社会保険部

[医薬分業に関する事業]

- 受入態勢の整備と促進
- 基準薬局制度
薬局業務運営ガイドラインに添って充実がはかられました。
- 三師会活動の推進
新年会、医政部を中心とした懇談会、救急医療懇談会など共同活動をしました。フィランセまつりに共同参加し活動しました。
- 富士市薬剤師会センター薬局運営
- 備蓄センターとしての機能
在庫検索等にホームページが利用されています。

5. 総務部

[広報・福利厚生に関する事業]

- 会報の発行
広報委員会では、理事会報告、会員投稿、D I 通信等、会報を年4回発行しました。
- 会員の福利厚生事業
理事・学薬・救急医療等会の業務に携わっている会員の交通事故傷害保険に加入しました。2月の総会終了後に懇親会を行い、親睦を深めるよい機会となりました。

6. 防災部

[災害時の医療救援活動に関する事業]